

# 雲南消防本部からのお知らせ

## 住宅用火災警報器は

10年を目安に交換をおすすめします！



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

10年を目安に交換しましょう。

### ●定期的に作動確認し、音を聞きましょう

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

#### 【正常な場合】

正常を知らせるメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

#### 【音が鳴らない場合】

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。

それでも鳴らない場合は「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

取扱説明書をご覧ください。

※電池切れのサイン…ピッ又はピポッ（30秒間隔で短音が鳴り出した時）

機種により異なることがありますので、メーカーにお問い合わせください。



### ●定期的に掃除を行いましょう

住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。

まず、汚れなどが目立ってきたら、乾いた布でふき取りましょう。

特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。

布を水やせっけん水に浸し、十分に絞ってから汚れをふき取って下さい。

掃除の際は以下のことに気をつけ、破損しないよう丁寧に取り扱いましょう。

- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しない。
- 水洗いは絶対にしない。
- 煙流入口は煙を感知する重要な部分なので、塞いだり、傷をつけたりしない。



※ 新しい火災警報器に交換したら本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。